

安心！安全！みんなのまち

『防災・防犯大型カルタ』

生涯福祉学部 こども福祉学科
満田 知美 准教授

【協力先】
加古川市消防本部
加古川警察署

塩谷将広（3年） 稲村匠太（3年） 谷坂 唯（3年）
松原 董（3年） 待場沙羅（2年） 平野真衣（2年）
牧 勇斗（2年） 轟まひろ（1年） 中尾沙貴（1年）

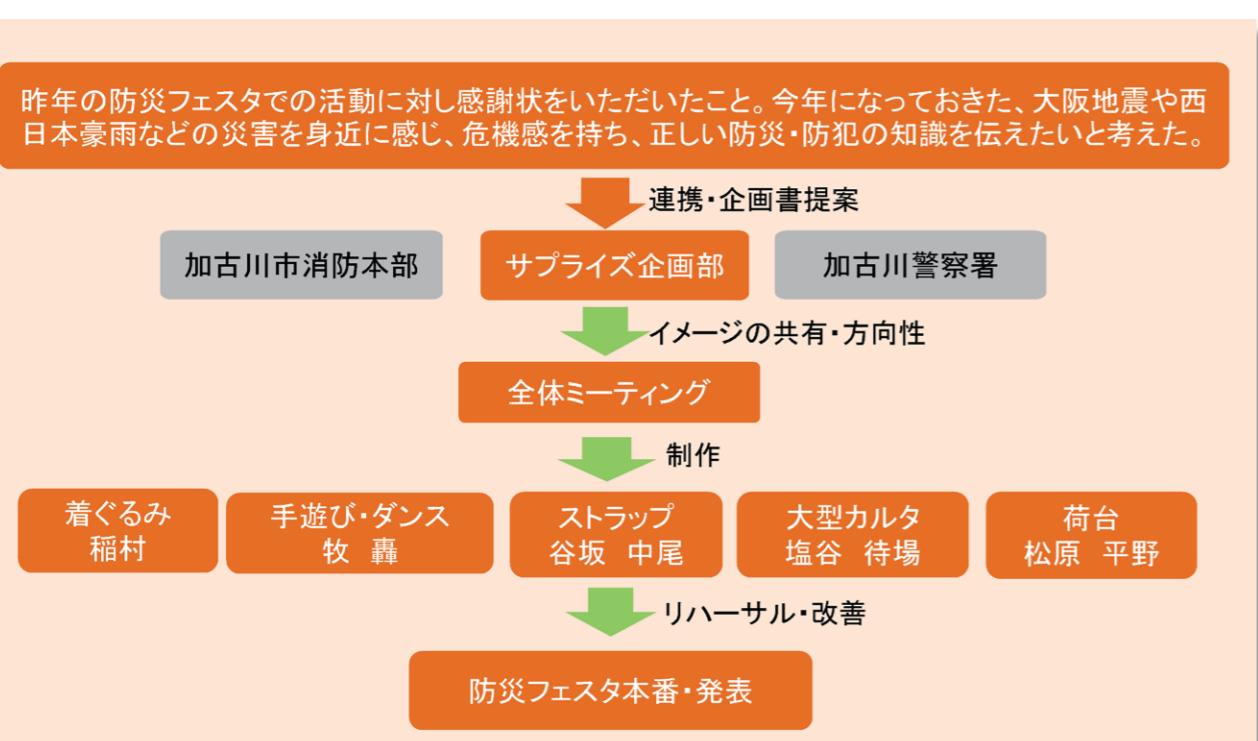
目的

私たちは、こども福祉学科を中心としたサプライズ企画部というサークルメンバーです。アートの楽しさやこどもの関わりを通して「ワークショップ」や「イベント」を実践し企画力を身に付け、自分が楽しむことをコンセプトのもと活動をしています。

こうしたコンセプトのもと、私たちは今回加古川市消防本部とのコラボ企画として防災大型カルタを制作し、毎年11月に加古川市内で開催される防災フェスタに参加し、大型カルタ大会を開催することになりました。

3年前に加古川警察署と交通安全運動、オレオレ詐欺撲滅運動を協働で実施し、昨年は、加古川市消防本部と、防カル君の着ぐるみ、オリジナルダンスと手話遊びの制作を行い、どちらも感謝状をいただきました。これらのいきさつと今年関西地方を襲った災害がきっかけとなり、こどもたちが日常生活で正しい防災知識を身に付け意識向上につながるものは何かを考え、この大型カルタを発案することになりました。

製作過程



防災フェスタ当日

大型カルタでは、子どもたちにわかりやすく防災についての知識を伝えることを意識し、イラストや読み札の文言もすべて自作しました。会場にいる子どもたちを集め、札を見つけた順にステージ上で掲げてもらいます。手話遊びでは、手話の資格を持った学生を中心に手話を取り入れた遊びを考えました。

ステージが終わった後は、加古川市連合婦人会からの依頼をいただき制作したA4カルタを、地域の方、保護者などと交流しながら、子どもたちに少しでも防災の知識を身に付けてもらうことを目的に、子どもが扱いやすいサイズで楽しんでもらいました。



ふりかえり～教育の成果と学生の成長～

【学生への教育成果】

活動する学生の多くは、将来こども教育に関連する仕事を希望しています。対人関係の職種であるため、相手に理解してもらえるように伝える力、人を惹きつけるための表現力が必要となります。そして保育現場では交通安全教室、避難訓練は行事としてカリキュラムに組み込まれているため、消防車やパトカーなどはこどもたちの平面作品や造形展などでも必ずモチーフに選ばれています。在学中からこれらの知識を高め、表現技術を体得することは、数年後の自身の将来像を考えるきっかけづくりとなっています。

また加古川市消防本部や加古川警察署のニーズ、防災フェスタ実行委員会との打合せ・など、学生ながらも社会人と共に同じ一つの目的に向かって活動を進めていくプロセスは、通常の授業だけでは味わえない経験となりました。

【地域への貢献】

こども達が身近な遊びであるカルタから得た知識を、家庭内の話題で共有することにより、親・祖父母世代の防災・防犯意識も同時に高まると考えます。カルタは昔から伝わる伝承遊びの一つであり、年齢を超えた交流を促すこともできます。一人暮らしの高齢者など地域住民の交流にカルタを用い、地域コミュニティが広がることで、避難場所、避難経路、津波警戒区域、土砂災害警戒区域の共通理解を地域全体で確認できるのではないかでしょうか。



またカルタ遊びを通して、防災の知識だけでなくルールを守ること、譲り合う心を学ぶことができると言えました。カルタ遊びでルールを守ることは、事故を防ぐことや犯罪に巻き込まれないよう生活ルールを守ることと同じです。同時にカルタを取った時に譲ってあげる心配りは、災害時・緊急時の他人への思いやりに通じると考えます。

これらのことから、大学近隣の幼稚園や小学校、児童館、子育てプラザ、お祭りなどで大型カルタを実施し、次年度以降も継続的に普及活動に取り組む予定です。